

年 間 授 業 計 画

科 目 名		観光ビジネス	単位数	3 単位	学年・学科	3 学年 会計科	展 開	3 年選択Ⅱ
教科書番号		7 実教 商業 7 3 8			副 教 材 名	観光ビジネス準拠問題集（実教出版）		
教科書名		観光ビジネス（実教出版）						
科 目 の 目 標		商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、観光ビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
学習内容と進め方		①観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ③ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。						
学 習 の 留 意 点		①観光を学ぶ意義と学び方、観光の学習分野について取り扱い、観光の学習ガイダンスを行い、生徒の学習の動機付けを行う。 ②観光に関する基礎的な知識や技術を習得させる。 ③観光ビジネスの諸活動に適切に対応する能力や態度を身につける。						
月	単 元	予 定 時 数	具体的な学習内容	評価の観点			備考（評価項目）	
				1	2	3		
4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3	Introduction なぜ観光ビジネスを学ぶのか	9 10 5 6 9 21 9 9 9	・観光ビジネスを学ぶ意義を理解する。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要について学ぶ。 ・観光ビジネスの意義と課題について理解する。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。	○			・観光ビジネスを学ぶ意義を理解している。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・観光ビジネスの意義と課題について、日本における経済の発展と関連付けて見いだすことができる。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・観光ビジネスにおけるマーケティングについて企業の事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・観光ビジネスにおけるマーケティングに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善することができる。 ・観光ビジネスにおけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・実習に主体的・協働的に取り組んでいる。 ・観光資源と観光政策について企業などにおける事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・観光資源の活用に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善することができる。 ・観光資源と観光政策について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光資源の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・地方自治体の観光政策の概要について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・地方自治体の観光政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光政策を立案して実施し、評価・改善することができる。 ・地方自治体の観光政策について自ら学び、観光による地方創生や地域の活性化などを踏まえ、持続可能な観光政策に主体的かつ協働的に取り組む必要がある。	
	第1章 観光ビジネスの概要 1. 観光ビジネスの担い手と特徴 2. 観光ビジネスの動向 3. 日本の観光政策 4. 観光ビジネスと地域				○			
	第2章 観光ビジネスの 主な産業 1. 旅行業 2. 宿泊業				○			
	【前期中間考査 6/5水～7金 】				○			
	3. 旅客輸送業 4. 娯楽業 5. その他の産業				○			
	第3章 観光ビジネスのマーケティング 1. 観光ビジネスの顧客 2. 観光ビジネスにおけるマーケティングの意義				○			
	【前期期末考査 9/3火～6金 】				○			
	3. 観光ビジネスのマーケティング戦略				○			
	実習 もしあなたが地域の観光マーケティング戦略の立案担当になったら					○		
	第4章 観光資源の発見と活用 1. 観光資源とは何か 2. 観光資源の保護と保全							
	【後期中間考査 11/27水～29金 】				○			
	第5章 地方自治体の観光政策 1. 地方自治体の観光政策の概要 2. 地方自治体の観光政策の実施内容				○			
第6章 観光ビジネスと観光まちづくり 1. 観光まちづくりとは何か 2. 観光まちづくりと地域の活性化のプロセス				○				
【後期期末考査 2/18火～21金 】			○					
実習 地域の活性化と観光まちづくりの実践				○				
評価方法		(知識・理解) 定期考査、確認テスト (思考・判断・表現) ワークシート、レポート (主体的に学習に取り組む態度) 実習日誌、議事録、ワークシート						
評価の観点	観点	趣旨						
	1 知識・技能	観光ビジネスについて、体系的・系統的に理解し、観光ビジネスのさまざまな場面で役に立つ、基礎的な知識と技能を身に付けている。						
	2 思考・判断・表現	観光ビジネスに関する課題を発見し、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。						
	3 主体的に学習に取り組む態度	観光ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。						
評価基準	1 知識・技能	A 観光ビジネスについて、体系的・系統的に理解し、基礎的な知識と技能を身に付けている。 B 観光ビジネスについて、体系的・系統的に理解し、基礎的な知識と技能を概ね身につけている。 C 観光ビジネスについて、基礎的な知識と技能を理解していない。						
	2 思考・判断・表現	A 観光ビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考察することができる。 B 観光ビジネスに関する課題を発見し、課題への対応策を考察することができる。 C 観光ビジネスに関する課題を発見し、課題への対応策を考察することができない。						
	3 主体的に学習に取り組む態度	A 観光ビジネスに関する事項について、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 B 観光ビジネスに関する事項について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。 C 観光ビジネスに関する事項について、主体的かつ協働的に取り組む努力が必要である。						